



角 笛 会 会 報

ホームページ: http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~tsuno_hp/index.shtml

発行所

日本大学生物資源科学部
獣医学科角笛会

〒252-8510

藤沢市亀井野1866

0466-84-3624



巻頭のご挨拶

角笛会会長 中川 秀 樹 (昭和40年卒)

反映されたものと思います。

長期にわたる経済不況による税収低下は、国を始め地方自治体の財政状況を圧迫して、雇用、医療、福祉、年金等のサービスの低下、負担の増加など大きく国民生活を圧迫しています。世界不況による穀物の高騰は畜産界にも大きな影響を及ぼし小規模経営の酪農家が廃業に追い込まれ深刻な問題となっています。加えて新型インフルエンザによる死亡者が全国で散見される状況に国民の不安は物心両面に波及しています。

獣医学教育が6年制に移行して20年を経過した現在、獣医学科入学者の60%以上が小動物臨床獣医師を目指しています。その結果、産業動物臨床分野と公衆衛生分野への就業希望者が減少して、獣医師の需給が地方都市で問題となっています。その要因は同等の6年教育を受けた医師、歯科医師と比較して処遇に大きな格差があることと、生涯を掛ける職にモチベーションが欠けることにあります。

同窓獣医師は様々な分野に於いて懸命にその改善に力を注ぎ、処遇については初任給調整手当の増額、医療職1に準ずる給与体系の獲得など実績が散見されておりますが、日本全体では未だ改善されていない状況にあります。幅広い職域に獣医師が充足しなくては国民生活に支障が生じます。

先達としてそれぞれの分野で活躍される同窓諸氏の一層の尽力をお願い致します。国は本年度からは獣医師国家試験問題を30問追設して、依り優れた資格者を社会に送り出すことを目指します。獣医師業務のグローバルスタンダード化が進捗する状況に対応するためには獣医学教育の改善による世界に通ずる人材の養成が必須であります。

本年度も角笛会は準会員支援として、新入生歓迎会、スポーツフェスタ、国家試験サポート等への助成、成績優秀者表彰、卒業生への記念品贈呈、加えて、今年度からは経済困窮学生救済事業も行なって参ります。

また、各支部の総会へ役員、教員を要望に応じて派遣致し、講演、大学の近況説明、本部への要望などを承っております。どうぞ各位におかれましては在校生への助言、就職相談、各支部の事業、懇親にお力添えをお願い申し上げます。

末筆になりますが、校友各位の益々の発展と御健勝を祈念すると共に全国各支部の隆盛を御期待申し上げます。



ご 挨 拶

獣医学科主任 佐藤 常 男 (昭和50年卒)

中川秀樹会長始め角笛会会員の先生方には日頃より、獣医学科の教育、研究活動にご支援を賜り、誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

本年、当学科は3月に131名の卒業生を送り出しました。卒業式には、中川会長よりお祝いのお言葉

と6年生全員に記念品を頂きました。また優秀な学生には角笛会長賞をいただき、その健闘を称えて下さいました。多くは例年通り、小動物臨床の道に進みましたが、公務員、産業動物分野にも選択肢を広げるよう学科としても取り組んでいる状況です。獣医師国家試験は今一步という結果となりましたが、獣医師養成を基本目標とする以上、教員一同、たゆまざる努力を続けたいと考えております。4月には131名の新入生を迎えました。クラス担任である上地正実教授(獣医内科学)、安倍 弘教授(教養)および坂井 学専任講師(獣医内科学)の指導の下、4月19日に新入生歓迎会が開催されました。今回は湘南鵠沼海岸にて恒例の地引網と海岸でのバーベキューを楽しみ、参加教員および学生ともども大変有意義な1日を過ごしました。また5月23日には生物資源科学部の運動会であるスポーツフェスタが行われ、獣医学科の1年生は角笛会よりいただいたお揃いのTシャツを着て参加しました。その甲斐あってか、「台風の目」という学科対抗競技の種目では第1位になりました。獣医学科は今年も大変結束がよく、この絆が卒業後も続くことを願っております。教員についてみますと、4月より遠矢幸伸教授(獣医微生物学)が東京大学より赴任されました。また柳瀬綾子実習助手が学科事務室に配属されました。教育の充実、発展が

大いに期待されるところであります。

今年は新型インフルエンザが流行し、円滑な教育・研究が危惧されましたが、比較的落ち着いた状態で、1年次から6年次まで847名（9月1日現在）の獣医学科の学生たちが湘南キャンパスで学んでおります。教育環境も大変整備され、私ども教員は酒井健夫総長の下、一丸となって獣医学教育の益々の改善、充実に向けて励んでいきたい所存でございます。角笛会の皆様には一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共にご健勝をご祈念申し上げます、ご挨拶といたします。

平成21年度 角笛会総会開催

事務局長 渋谷 久



中川会長挨拶

平成21年6月13日（土）、日本大学生物資源科学部10号館第4講義室において平成21年度の角笛会総会が開催されました。本年度も日本大学獣医学会と合同開催で行われ、校友の親睦を中心に学術の発展が図られました。はじめに中川秀樹会長より挨拶があり、久松紘一議長（昭和39年卒）の進行で審議が行われました。事務局から提出された平成20年度事業報告、会計報告、監査報告が承認され、また平成21年度事業計画案および予算案も承認、成立しました。また新幹事として新支部長就任に伴う7氏の幹事、豊川氏（東北北海道）、前田氏（北海道）、長谷川氏（栃木県）、土屋氏（長野県）、吉田氏（岐阜県）、三宅氏（静岡県）、渡木氏（奈良県）と平成21年度クラス幹事、石川氏、住田氏が承認されました。そして準会員の学費支援を含めた角笛会支援基金が前総会で設立されたのを踏まえ、角笛会支援基金貸与規程が提出・承認されました。総会終了後、角笛会特別功労者6名（宮越氏、飯塚氏、玉腰氏、矢ノ下氏、高橋氏、出口氏）、角笛会功労者3名（川崎氏、澤田氏、青木氏）とANMEC支援基金受賞者（浅野和之先生）が表彰されました。

本館ガレリア階スエヒロにて催された懇親会には同僚校友会の来賓の方々、角笛会校友、獣医学科教員を含め約70名に参会いただきました。にぎやかに談笑するうちに時間が流れ、盛会裏に終了しました。来年度は現役学生（準会員）への普及活動として準会員を懇親会に招待することが総会にて承認されましたので、さらに盛筵になると思われます。



総会資料

平成20年度 一般会計収支決算報告書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 支部会費	1,600,000	1,451,000	149,000	1451人×1,000円
2. 準会員費	2,500,000	2,568,000	△ 68,000	校友会本部
3. 学部校友会交付金	200,000	200,000	0	学部より
4. 雑収入	5,918	488,235	△ 482,317	諸君教授を招きます会収支差額金、利息等
5. 前年度繰越額	2,564,082	2,564,082	0	平成19年度分
収入合計 (A)	6,870,000	7,271,317	△ 401,317	

支出の部				
科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 経常費	2,160,000	1,467,389	692,611	
(1) 会合費	200,000	1,367	198,633	会議等
(2) 交際費	300,000	215,203	84,797	支部総会祝い金等
(3) 旅費交通費	700,000	614,220	85,780	支部総会旅費等
(4) 通信運搬費	200,000	107,542	92,458	通信料・郵送料
(5) 事務局運営費	760,000	529,057	230,943	給食・消耗品等
2. 会報費	300,000	240,975	59,025	会報24号（含雑誌料）
3. 名簿管理費	300,000	141,832	158,168	業務委託費等
4. 新入生・卒業生記念品費	400,000	436,426	△ 36,426	平成20年度新入生・卒業生
5. 褒賞費	300,000	134,400	165,600	功労賞・角笛会会長賞・特別賞
6. 学会補助費	200,000	200,000	0	第46回日本大学獣医学会
7. 補助費	100,000	100,000	0	第7回日本大学医療系同窓・校友会
8. 組織拡充費	100,000	100,000	0	ホームページ管理等
9. 特別会計Ⅰ	300,000	300,000	0	名簿会計へ
10. 特別会計Ⅱ	1,300,000	1,300,000	0	将来事業基金へ
11. 予備費	1,410,000	80,000	1,330,000	順観会収支差額分
支出合計 (B)	6,870,000	4,501,022	2,368,978	三菱東京UFJ銀行

平成20年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 2,770,295 円

平成20年度 特別会計Ⅰ 収支決算報告書【名簿会計】

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 名簿作成雑入金	300,000	300,000	0	平成20年度分
2. 雑収入	5,022	2,850	2,172	利息
3. 前年度繰越額	2,344,978	2,344,978	0	
収入合計 (A)	2,650,000	2,647,828	2,172	

支出の部				
科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 名簿作成費	2,650,000	0	2,650,000	
2. 雑支出	0	0	0	
支出合計 (B)	2,650,000	0	2,650,000	

平成20年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 2,647,828 円

平成20年度 特別会計Ⅱ 収支決算報告書【支援基金・将来事業資金】

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 将来事業雑入金	500,000	500,000	0	平成20年度分
2. ANMEC研究助成金	300,000	300,000	0	
3. 角笛会支援基金	500,000	500,000	0	
4. 雑収入	7,445	3,014	4,431	利息
5. 繰越額	2,192,555	2,192,555	0	
収入合計 (A)	3,500,000	3,495,569	4,431	

支出の部				
科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. ANMEC研究助成費	300,000	600,525	△ 300,525	ANMEC支援基金(含振込手数料)
2. 角笛会支援基金	500,000	0	500,000	
3. 将来事業基金	1,750,000	0	1,750,000	
4. 記念誌作成費	850,000	851,340	△ 1,340	記念誌改訂版300冊（含む振込手数料）
5. 予備費	100,000	0	100,000	
支出合計 (B)	3,500,000	1,451,865	2,048,135	

平成20年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 2,043,704 円

平成20年度 懇親会費 収支決算報告書

収入の部				
科目	予算額	決算額	差 異	備 考
懇親会参加費	400,000	320,000	80,000	5,000円/54人、祝儀

支出の部				
科目	予算額	決算額	差 異	備 考
懇親会費	400,000	400,000	0	

平成20年度収支差額 △ 80,000 円
収支差額は一般会計より補填

平成21年度 一般会計 予算(案)					平成21年度 特別会計Ⅰ 予算【名簿会計】(案)				
(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)					(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)				
(単位:円)					(単位:円)				
収入の部					収入の部				
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考	科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 支部会員費	1,600,000	1,600,000	0	1600名×@1,000	1. 名簿作成繰入金	300,000	300,000	0	一般会計より
2. 準会員費	2,500,000	2,500,000	0	校友会本部	2. 雑収入	2,172	5,022	△ 2,850	預金利息等
3. 学部校友会交付金	200,000	200,000	0	学部より	3. 繰越額	2,647,828	2,344,978	302,850	
4. 雑収入	4,705	5,918	△ 1,213	預金利息等	収入予算合計	2,950,000	2,650,000	300,000	
5. 前年度繰越額	2,770,295	2,564,082	206,213		(単位:円)				
収入合計	7,075,000	6,870,000	205,000		支出の部				
支出の部					科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考	1. 名簿作成積立金	2,950,000	0	2,950,000	
1. 経常費	2,160,000	2,160,000	0		2. 名簿作成費	0	2,650,000	△ 2,650,000	
(1) 会合費	200,000	200,000	0	会議等	3. 雑支出	0	0	0	
(2) 交際費	300,000	300,000	0	支部総会等祝儀	支出予算合計	2,950,000	2,650,000	300,000	
(3) 旅費交通費	700,000	700,000	0	支部総会等旅費	平成21年度 特別会計Ⅱ 予算【支援基金・将来事業資金】(案)				
(4) 通信運搬費	200,000	200,000	0	通信	(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)				
(5) 事務局運営費	760,000	760,000	0	給与、ソフト等	(単位:円)				
2. 会報費	300,000	300,000	0	会報25号	収入の部				
3. 名簿管理費	300,000	300,000	0	業務委託等	科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
4. 準会員補助費	600,000	400,000	200,000	平成21年度新入生・卒業生・準会員	1. 将来事業積立金	500,000	500,000	0	一般会計より
5. 褒賞費	300,000	300,000	0	功労賞・角笛会会員賞・特別賞	2. ANMEC研究助成金	300,000	300,000	0	
6. 学会補助費	200,000	200,000	0	第47回日本大学獣医学会	3. 角笛会支援基金	500,000	500,000	0	
7. 補助費	130,000	100,000	30,000	日本大学医療系同窓・校友会	4. 雑収入	6,296	7,445	△ 1,149	預金利息等
8. 組織拡充費	200,000	100,000	100,000	ホームページ管理等	5. 繰越額	2,043,704	2,192,555	△ 148,851	
9. 特別会計Ⅰ	300,000	300,000	0	名簿作成繰入金	収入予算合計	3,350,000	3,500,000	△ 150,000	
10. 特別会計Ⅱ	1,300,000	1,300,000	0	将来事業積立金、ANMEC、角笛会支援基金	支出の部				
11. 予備費	1,285,000	1,410,000	△ 125,000	学部校友会60周年記念支援	科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
支出合計	7,075,000	6,870,000	205,000		1. ANMEC研究助成金	300,000	300,000	0	
					2. 角笛会支援基金	500,000	500,000	0	積立を含む
					3. 将来事業基金	2,450,000	1,750,000	700,000	次回式典及び記念誌作成のための積立
					4. 記念誌作成費	0	850,000	△ 850,000	
					5. 予備費	100,000	100,000	0	
					支出合計	3,350,000	3,500,000	△ 150,000	
					平成21年度 懇親会費 予算 (案)				
					(単位:円)				
					収入の部				
					科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
					懇親会参加費	400,000	400,000	0	5,000円/人
					支出の部				
					科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
					懇親会費	400,000	400,000	0	

動物病院だより

平成21年度日本大学動物病院 (ANMEC) 便り

動物病院長 田中 茂男

角笛会の皆様には日頃よりANMECの活動にご理解とご協力を賜り感謝を致しております。平成20年度の診療活動は、お陰様にて診療頭数や診療収入ともに大きく前年度を上回り、他の同僚大学にも勝る活動実績を挙げることができました。また、角笛会からは、ANMECへの研究基金を長年にわたり支援頂いており、重ねて御礼を申し上げます。

平成21年度の活動もお陰様にて順調に経過致しておりますが、この機会に、活動の一端をご報告致したいと存じます。

1. 電子カルテ化について

平成19年度から3カ年計画で進めております電子カルテ化ですが、お陰様にて順調に進んでおり、すでに、画像診断システムが構築され、診察室からMRIやCT画像をモニターで飼い主に説明できるようになり、現在はフィルムレスの状況となっています。本年度は在庫管理システムや本来の電子カルテ化に移行中であり、カルテへの記入にも端末を増加させるなど予定しております。また、会計システムや在庫管理システムも構築作業に入っています。将来は、患者予約システムや自動会計システムまで構築する予定であります。このように院内業務の簡素化とクライアントに対するサービス向上に努めてまいります。

2. 夜間守衛の配置

受付、会計などの業務が夕方の17時に終了するに伴って正面玄関が管理上閉鎖されます。そのため、クライアントや学生の出入りなどに支障をきたしておりましたが、本年6月から、守衛を配置し、夜間17時から23時までの出入りが南側(駐車場側)からの出入が可能となり、クライアントや学生へのサービスも向上しております。

3. 構成人員の増強

事務職員、支援獣医師、有給研修医、無給研修医および動物看護師の増強については平成20年度に比べて、事務職員は2名増加の6名となり、支援獣医師は3名(MRI、CT撮影1名、放射線治療支援1名、外科手術支援1名)有給研修医は、2名増の合計19名、無給研修医は、17名が増加し、合計49名および動物看護師は1名が採用されるなどANMECの構成人員も年々充実しつつある状況です。

4. ANMECセミナーの開催

平成7年にANMECが開設されて以来、毎月行ってまいりましたANMECセミナーも、本年、11月の開催で第160回を迎える予定となっています。現在、このセミナーの受講者には日本獣医師会の獣医師生涯研修に対する1ポイントが取得されるようになっていきます。今後とも、興味ある演題を設けて開催致したく、多数のご参加をお待ちいたしております。

以上、紙面の都合上簡単にご報告させて頂きました。

今後、ANMECの活動も教育病院として、研究機関として、また、社会から求められる地域の高度医療センターの役目を担うべく、より一層の発展に向けて努力して参りますので、引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。



平成18年度に導入した高エネルギーX線治療装置（リニアック）で腫瘍に対する根治治療ならびに緩和治療を目的に稼動しています。

ANMECセミナー開催報告

ANMECセミナーは、臨床に必要な基礎から新知見まで網羅した多くの情報の発信源です。ご興味をお持ちの先生方は、どうぞご参加ください。

平成20年度 ANMECセミナー開催（第147回～第150回）

第147回（H20.9.22開催）

教育講演；「各種サンプルからのホルモン濃度測定と
繁殖用ホルモン剤の使い方」
大滝 忠利（獣医臨床繁殖学）

第148回（H20.10.14開催）参加者180名（外部11名・内部169名）

教育講演；「最新の心不全の治療戦略」
Dr. John Edward Rush
(Tufts University Cummings School of Veterinary Medicine)
「心不全の栄養管理」
Dr. Lisa M. Freeman
(Tufts University Department of Clinical Sciences
Cummings School of Veterinary Medicine)

第149回（H20.11.17開催）

教育講演；「犬と猫の出血性疾患」
「止血・凝固のメカニズムと臨床検査」
丸山 治彦（獣医臨床病理学）
「犬と猫における出血性疾患の臨床」
亘 敏広（総合臨床獣医学）

第150回（H20.12.15開催）

教育講演；「ペットと人獣共通感染症」
丸山 総一（獣医公衆衛生学）

平成21年度 ANMECセミナー開催（第151回～第158回）

第151回（H21.1.19開催）

教育講演；「角膜潰瘍」
滝山 直昭（獣医内科学）

第152回（H21.2.23開催）

教育講演；「横浜検疫所輸入食品・検疫検査センターの概要
及び動物由来感染症」
川口 潤二
(厚生労働省横浜検疫所
輸入食品・検疫検査センター 統括検査官)

第153回（H21.3.9開催）

教育講演；「生命は直線より指数モデル」
中山 智宏（獣医放射線学）

第154回（H21.4.20開催）

教育講演；「各診療科で遭遇する黄疸について考える」
「血液科から」 亘 敏広（総合臨床獣医学）
「消化器内科から」 坂井 学（獣医内科学）
「消化器外科から」 浅野 和之（獣医外科学）

第155回（H21.5.18開催）

教育講演；「獣医療における再生医療最前線
～基礎から臨床まで各施設間のバトルトーク～」
原田 恭治（日本獣医生命科学大学 獣医学科 獣医外科）
久末 正晴（麻布大学 獣医学科 内科学第二）
枝村 一弥（日本大学 獣医外科学）

第156回（H21.6.15開催）

教育講演；「腎泌尿器系」
Larry G. Adams, DVM, Ph. D. Diplomate ACVIM
(Small Animal Internal Medicine)
Professor of Veterinary Clinical Sciences, Perdue University

第157回（H21.7.13開催）

教育講演；「疾病ごとの麻酔管理のポイント整理」
「麻酔管理とは？」 佐野 忠士（総合臨床獣医学研究室）
「循環器疾患と麻酔」 手島 健次（獣医外科学研究室）
「呼吸器疾患と麻酔」 山谷 吉樹（総合臨床獣医学研究室）

第158回（H21.9.28開催予定）

教育講演；「皮膚病理入門」
関口 麻衣子
(株式会社プロキオン代表取締役／獣医学博士)

獣医学科の近況

【獣医師国家試験】

第60回獣医師国家試験には、日本大学獣医学科から130名が受験し、107名が合格しました。合格率82.3%（全国平均86.3%）でした。

【表彰、受賞】

平成20年度の卒業生のうち優等賞が大竹詩織さん、学部長賞が中川知香さん、吉岡奈緒美さん、日本獣医師会会長賞が信定世津子さん、角笛会賞が佐久本彩乃さんと服部宏晃さんにそれぞれ授与されました。

【博士（獣医学）の学位取得者】

課程博士：小林由紀氏、小林 功氏、近藤広孝氏。

【退 職】

大谷 功専任講師（獣医生理学）、鈴木和彦助手（獣医伝染病学）がご退職されました。

【人事・昇格】

上地正実准教授（獣医内科学）が教授として昇進されました。坂井 学氏（獣医内科学）が専任講師に昇進されました。

【新 任】

遠矢幸伸教授（獣医微生物学）、柳瀬綾子さん（実習助手）が着任されました。

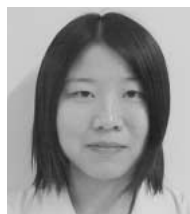
■新任の先生の自己紹介



（獣医微生物学）
遠矢 幸伸教授

本年4月1日より獣医微生物学研究室に教授として赴任いたしました。私は定員30名の小さな獣医学科でしか教えたことがありませんでしたので、赴任当初は100名を超える学生を相手に講義や実習をすることは少し戸惑いましたが、おかげさまで何とか前期の授業をこなし、現在は後期の授業を始めています。私は1985年3月に東京大学大学院農学系研究科畜産獣医学専攻修士課程を修了後、同農学部獣医微生物学研究室の助手として働くことになりました。そして、1995年に鹿児島大学農学部で助教授として転任し、その後、2000年に東大に戻りましたが、ご縁がありまして日本大学にお世話になることとなり、現在に至っています。研究は犬や猫のウイルスを中心とした研究を続けて来ました。特にネコカリシウイルスにつきましても、モノクローナル抗体を用いた中和抗原解析、カプシド遺伝子塩基配列の解明、機能的レセプターの同定など、それなりのレベルの仕事を学生さんたちとして来たと考えています。また、アルゼンチンでのネコ免疫不全ウイルスの血清調査（南米初）と新しい遺伝子型ウイルスの証明、ベトナムでの犬パルボウイルスの新しい抗原変異株の発見、テキサス大学でのコウモリコロナウイルスのnsp1蛋白の比較研究など海外での仕事でも思い出深いものがあります。

さて、どこの大学でも獣医学科の学生さんたちは明るくて優秀ですし、獣医学には何ととっても夢があります。これからは日大の学生さんたちが伸び伸びと勉強ができる様に頑張りたいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



（学科事務）
柳瀬 綾子実習助手

4月より獣医学科の実習助手としてお世話になっております、柳瀬綾子と申します。

3月までは学生として、動物資源科学科に所属しておりました。乳牛に興味を持ち、また、フィールドワークの楽しさに惹かれた私は、各地の牧場で実習に打ち込む学生生活を送っておりました。飼養学研究室の反芻動物班に入室して以降は、新たに着任された先生のもと、山羊や乳牛の世話に汗を流し、「繊維成分含量がバイオエタノール製造副産物（DDGS）の消化性に及ぼす影響」をテーマに、卒業研究に打ち込んでまいりました。新たな動物を迎えるなど、日々変化していく研究室で、好奇心の絶えない毎日を過ごすことができました。

現在は実習助手として、獣医学科の皆様方に優しく支えて頂き、充実した日々を過ごしております。まだまだ至らぬ点ばかりではありますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



■平成21年度獣医学科入試状況

選抜方法	募集人員	受験者数	合格者数	競争率
一般推薦（公募制）	学部全体で70名	66(48)	21(15)	3.1
一般推薦(公募制・関連産業後継者)	学部全体で22名	30(13)	9(5)	3.3
校友子女推薦（公募制）	学部全体で23名	3(2)	2(1)	1.5
本校試験（第1期）	35名	1,313(524)	109(44)	12.0
本校試験（第2期）	15名	683(285)	37(14)	18.4
センター試験利用	10名	673(305)	22(7)	30.5

()内は女子

■学年担任（平成21年度）

- 1 年次：上地正実教授（獣医内科学）、坂井 学専任講師（獣医内科学）、安部 弘教授（教養）
 2 年次：鎌田 寛教授（獣医臨床病理学）、枝村一弥専任講師（獣医外科学）
 3 年次：中西照幸教授（魚病学）、浅野和之准教授（獣医外科学）
 4 年次：丸山総一教授（獣医公衆衛生学）、佐藤雪太専任講師（獣医実験動物学）
 5 年次：泉對 博教授（獣医伝染病学）、伊藤琢也専任講師（獣医衛生学）
 6 年次：佐藤常男教授（獣医病理学）、渋谷 久准教授（獣医病理学）

トピックス

ワシントン州立大学夏期臨床実習の報告について

獣医臨床繁殖学研究室 津曲 茂久 教授



教育病院から移動した装置も利用しての内視鏡検査の様子

平成21年度WSU夏期臨床実習には計34名（男子18人、女子16人）の学生が参加した。引率教員として、津曲茂久（団長）、渋谷 久准教授、山谷吉樹准教授、加藤亜香根副手が同行した。参加者には前回と同様3回以上の質問ノルマを課したこともあり、学生の積極的な姿勢が目立った。WSU受け入れ側と学生の取り組み姿勢とが相まって、多くの学生の研修全体に対する印象は上々であった。例年行われる修了式の会場では、全ての実習の様子を撮影した写真がモニターに映され、その写真を記録したCDも全員に配布された。さらに帰国後には実習状況を映したU-tube動画も送られてきた。日大

教育メディア機材も大分充実しているが、活用については教員の能力に依存しているのに対し、WSUでは技術職員の力を活用し多様かつ高度に利用しているのが印象的であった。最終日にWSU側実施担当者との意見交換会があり、WSU側から今後実習内容をさらに充実する意向が伝えられた。その一例として、会話能力のある学生が研修後に2週間程度臨床ローテーションに無料で参加することも可能とのことであった。

獣医学科、松本 淳専任講師が日本寄生虫学会奨励賞を受賞



松本 淳専任講師

獣医学科医動物学研究室の松本 淳専任講師が、第18回日本寄生虫学会奨励賞を受賞し、第78回日本寄生虫学会大会（平成21年）において授賞式が行われました。日本寄生虫学会奨励賞は、日本寄生虫学会が若い研究者の研究奨励の目的で制定し、現在までに14名の研究者が受賞しています。受賞の対象となった研究は、「新規抗多包条虫薬の標的としての嫌氣的ミトコンドリア呼吸鎖」（第76回日本寄生虫学会大会においてベストプレゼンテーション賞受賞）で、多包条虫が宿主哺乳類とは異なる嫌氣的エネルギー代謝系に依存して生存していることを、生化学的・分子生物学的アプローチにより初めて明らかにしたものであり、さらに嫌氣的呼吸鎖に対する阻害剤が虫体に対する高い殺滅効果を示すことを実証して、この嫌氣的呼吸鎖が多包虫症に対する新規治療薬開発の標的として有望であることを示したものです。

松本先生は、北海道大学獣医寄生虫学教室に所属した直後から寄生虫学の研究活動をスタートし、獨協医科大学、ベルン大学客員研究員等を経て、2008年から本学に着任しました。従って、今回の受賞は、日本大学、母校の北海道大学、初任地で学位取得の獨協医科大学(松田 肇指導教授、昭和40年日大獣医卒)にとりましても慶事となりました。

松本先生は本学着任後、多彩な研究経験を活かした蠕虫学研究を展開すべく研究室体制を着々と整えており、新規に科研費を受領した当人自身の研究活動のみならず、学部学生の教育にも熱心に取り組んでおります。今回の松本先生の受賞は、大学院生やポストクラスの若手研究者の更なる活性化に大きく寄与するものと確信します。

文責：獣医医動物学 野上 貞雄

大学院4年、井上 快さん本学で初めて日本獣医学会奨励賞を受賞

大学院獣医学研究科4年の井上 快さん(平成17年卒)が本学で初めて日本獣医学会奨励賞および大会長賞を受賞し、平成21年4月3日の第147回日本獣医学会学術集会(栃木県宇都宮市)で授賞式が行われました。同賞は将来の発展が期待される優れた獣医学の研究を行った若手研究者に贈られるもので、受賞対象は「小型哺乳類を自然宿主とする病原性バルトネラ属菌の生態に関する研究」です。

井上さんは、2006年に獣医学研究科に入学して以来、日本の野生小型哺乳類と輸入齧歯類における*Bartonella*属菌の分布状況、保有菌種ならびに宿主特異性等について細菌学的、分子生物学的手法を用いて精力的に研究を進めてきました。

その結果、わが国の野生小型哺乳類や輸入齧歯類にはバルトネラ属菌が高率に分布していることや*Bartonella grahamii*等の人に病原性を有する数菌種が高い宿主特異性を持って分布していることを初めて明らかにしました。さらに、わが国の齧歯類から新種のバルトネラ属菌を発見し、*Bartonella japonica*、*Bartonella silvatica*とそれぞれ命名して細菌分類学の国際誌に登録しました。

井上さんの研究対象は国内のみにとどまらず、世界各国に分布する*B. grahamii*の遺伝的多様性と地理的分布の関係について系統解析した結果、わが国に分布する*B. grahamii*には極東ロシアおよび中国南部から移入したと思われる異なる2つの系統が存在すること、欧米の*B. grahamii*の起源は北米にあり、宿主への適応進化と共にヨーロッパ諸国に広く分布した可能性を明らかにしました。

これらの研究成果は、国際学術雑誌(英文5報)、国際学会(4回)、国内学会発(19回)等に発表され、高く評価された結果として、荣誉ある受賞となりました。

文責：獣医公衆衛生学 丸山 総一

日本大学生物資源科学部校友会60周年記念式典に参加して

事務局長 渋谷 久(昭和62年卒)

平成21年7月11日(土)品川プリンスホテル、メインタワーにおいて日本大学生物資源科学部校友会60周年記念式典が開催されました。総会では平成20年度事業経過報告、会計決算また平成21年度事業計画、予算案が審議されました。記念講演では酒井健夫総長からお祝いのお言葉を頂き、会場「箱根」で行われた60周年式典では内田俊太郎学部校友会会長から60周年にあたって農獣医学部から生物資源科学部に至る長い歴史の紹介がありました。本部や学部役員、他学部同窓会の方々など多くの来賓を迎え、100名以上の校友が参会して盛大に行われた懇親会では、学部や学科の垣根を超え、にぎやかに談笑している様子がうかがえました。日本大学は10月に創立120周年を迎え、校友が100万人を超します。日本大学そして生物資源科学部の慶事が重なった平成21年でした。



第8回日本大学医療系同窓・交友学術講演会に参加して

事務局長 渋谷 久 (昭和62年卒)

平成21年10月3日(土)日本大学会館大講堂で第8回日本大学医療系同窓・交友学術講演会が歯学部・当番幹事のもと、開催されました。医療系における最近の話題(下記プログラム)に関して医学部、歯学部、松戸歯学部、薬学部、生物資源科学部(獣医学科)から各領域でご活躍の先生方にご講演をしていただき、最新の情報を交換する場になりました。本年度の学術講演会の参加者は角笛会から15名、全体では一般入場者(学生)をいれて135名でした。角笛会では学生参加費を無料として学生の参加を募り、日本大学の校友会に触れる機会だけではなく、研修の場としても提供することができました。懇親会では他学部の校友と親交を深めることができ、あらためて総合大学としての奥深さを実感した一日でした。

開会の辞

糟谷修三(当番学部・歯学部同窓会・会長)

来賓挨拶

酒井健夫(日本大学総長)

第1講演 日本大学松戸歯学部校友会

演者:川良美佐雄(日本大学松戸歯学部 口腔機能学・教授)

スポーツ歯学を楽しむ

ー上野由岐子投手のマウスガードへの道のりー

第2講演 日本大学医学部同窓会

演者:玉木利幸(横浜労災病院 循環器科副部長)

心血管病にならないために

ー将来の心血管病発症のリスク評価とその管理ー

第3講演 日本大学生物資源科学部獣医学科校友会(角笛会)

演者:上地正実(日本大学生物資源科学部 獣医内科学研究室・教授)

犬の僧帽弁閉鎖不全症に対する治療法の進歩

第4講演 日本大学薬学部校友会

演者:石井良和(東邦大学医学部微生物・感染症学講座・助教)

話題の耐性菌:グラム陰性菌を中心として

第5講演 日本大学歯学部同窓会

演者:本田和也(日本大学歯学部 放射線学教室・教授)

顎関節症って、なんだろう!

口が開きにくかったり、音がするのはなぜ?

閉会の辞

阿部正也(次回当番学部・松戸歯学部同窓会・会長)

懇親会

角笛会関連記事(校友だより)

博 友 会

堀口 隆嘉 (昭和33年卒)

卒業後、早くも五十年の歳月が過ぎ同期諸氏も後期高齢者に仲間入りする時に達しました。隔年に東京、地方で開催してきた同期会ですが、今年は幹事・斎藤善英君(前・作手村村長)の御尽力により平成21年10月7日愛知県新城市豊岡の湯谷観光ホテル泉山閣にて開催致しました。出席者は同期生13名、夫人4名にて、宴に入る前に幹事・斎藤善英君の謝辞、物故者への黙祷、次いで穴田勝進君(神戸より初参加)の乾杯の音頭にて楽しい歓談に入り、時の経つのも忘れた一夜でした。当日は、台風18号襲来の前日で心配でした。翌朝早々知多半島に上陸しましたが、ホテルが山間部の間にあり、少々強風を感じました。テレビの台風情報を見ていると突然の停電にて情報はラジオのみになりました。観光の方も歴史上有名な鳳来寺に行く予定でしたが倒木のため中止し、他の場所に変更になりました。途中、天候も回復し好き

思い出となりました。次回は東京近郊が開催地となり予定で多数の参加を期待して居ります。体調が不調にて参加できなかった諸氏には一日も早い御快復を祈念し、次回には御健勝にてお会い出来ることを楽しみにして居ります。



角笛会関連記事(支部だより)

■高知県支部だより

◆平成21年度 日本大学角笛会高知県支部総会開催

例年になく遅い梅雨明けでしたが、ようやく暑い夏が始まりました。甲子園の高校野球ももうすぐ開会です。平成21年8月2日、平成21年度日本大学角笛会高知県支部総会を開催しました。場所は、日本最後の清流と言われる四万十川のある高知県四万十市(旧中村市)で高知市から南へ車で3時間かかります。この地域に角笛会員がおおく、2～3年に1度は場所を移動して開催しています。

今年は14名の出席でしたが、参集会員の絆は強く、楽しく有意義な角笛会となりました。

しかし、高知県支部でも他支部の話題同様に若い会員の参加が少なく、今後の努力目標の1つとなっています。

今年は、支部役員の改選の年に当たり選挙の結果、若く行動力も大いに期待できる竹内潔新会長(S44年卒)・長崎英二事務局長(S60年卒)が選出されました。今後の躍進を大いに期待しています。高知はいつも元気一杯です。

文責：高知県支部 竹崎 誠(S35年卒)



■新潟県支部だより

◆平成21年度 角笛会新潟県支部定期総会開催

日本大学獣医学科校友会角笛会新潟県支部は、毎年新潟市内で総会を開催し、平成21年度は6月14日(日)に会員27名の出席を得て開催されました。今回は大学から角笛会事務局長の獣医病理学教室渋谷 久准教授をお招きし、「大学の近況と角笛会について」と題してパワーポイントによる多く写真を用いての最近の学内の状況、学生の様子、現在のカリキュラム及び角笛会の現況について紹介願いました。多くの会員は湘南校舎の変貌と近代的な施設の整備、大学教育の充実に驚嘆し、大学が身近になったと大変評判でした。

総会終了後、研修会を行い、会員発表「テーマ：今、現場最前線ではPart4」と題して、新潟県内の腫瘍の権威である、こばり動物病院病院長・水上浩一会員から「犬の腫瘍の診断について」、雪国動物病院病院長・山森勲理事から「郷土が輩出した歴代の偉人について」と題して、新潟県魚沼市出身の徳川家康などの歴史小説の大家「山岡荘八」についての研究成果の発表がありました。それぞれ会員同士の情報交換で研修会の時間が超過し、懇親会が延長となりましたが、日頃交流の少ない会員同士の情報交換に会場が盛り上がりしました。

例年、約半数の会員の出席ですが、女性役員の新規就任、若年層の参加呼びかけにより、若干参加者が増えましたが、田中治男支部長体制のもと、新潟県支部規約にあるように「会員相互の親睦をはかり、母校の発展に寄与すること」を目的に、今後とも参加したくなるような会の運営を実施し、更なる支部の活性化を図りたいと思っていますので御指導と御支援をよろしくお願いします。

文責：新潟県支部長 田中 治男



■北海道支部だより

◆平成21年度 角笛会北海道支部総会及び懇親会開催

平成21年8月2日に札幌第一ホテルにて北海道支部総会ならびに懇親会が開催されました。本支部の総会は、諸般の事情によりしばらくお休みしておりましたが、昨年から前田恒雄先生(S44年卒)を会長、私中澤茂樹(S60

年卒)を事務局長として、会員30名を集め、活動を再開いたしました。

今回の支部総会には、昭和15年卒から平成6年卒まで総勢30名の会員が参集いたしました。中には日高、函館方面の遠方から駆けつけてくれた会員もいました。総会では、高橋 薫先生(S63年卒)を議長として選出した後、平成20年度の事業報告、会計報告が事務局からあり、平成21年度の事業計画、予算案も問題なく承認されました。また、今後の課題として、広い北海道の中で、どこまで支部の規模を広げるか、いかにして若い会員を多く取り込んでゆくか等について議論されました。

総会の後は、獣医公衆衛生学研究室教授の丸山総一先生に最新の母校の様子をスライドで紹介していただくと共に、入試制度についても解説していただきました。会員一同、大きく変わりつつ母校の様子に驚きを隠し得ませんでした。

総会後の懇親会には、芸術学部、理工学部の校友会代表もお招きし、和気あいあいとした懇談の輪がそこここに広がり、約2時間の懇親会はあっという間に過ぎてゆきました。

その後、話の弾んだ多くの会員はすすき野の2次会場へと消えてゆきました。

文責：北海道支部事務局長 中澤 茂樹(昭和60年卒)



学会関連記事

第47回日本大学獣医学会が下記の通り開催されました。本年も角笛会との合同開催となりました。

担当学会長：鳥海 弘

学 会 長：津曲 茂久

日 時：平成21年6月13日(土)

場 所：日本大学生物資源科学部

第48回日本大学獣医学会開催案内

日 時：平成22年6月

場 所：日本大学生物資源科学部

問 合 せ：事務局

〒252-8510

神奈川県藤沢市亀井野1866

日本大学生物資源科学部

総合臨床獣医学研究室(山谷 吉樹)

TEL.0466-84-3900(病院受付)

E-mail: yamaya@brs.nihon-u.ac.jp

◇求人のお願ひ◇

女子学生の増加に伴い、小動物臨床の勤務獣医師を希望する者が増えております。会員からの求人申し込みは学生就職指導課ならびに6年生担任(佐藤常男教授、渋谷 久准教授)までご連絡下さい。

※角笛会のホームページは随時、更新されております。角笛会関係の行事予定、支部同窓会からのお知らせ、また最新の角笛会報など多くの情報を発信しております。是非、お立ち寄りください。

ホームページアドレス

http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~tsuno_hp/index.shtml



編集後記

角笛会報にご意見、ご希望等がございましたら獣医臨床病理学研究室の加納(kano@brs.nihon-u.ac.jp)までご連絡下さい。

(平成21年10月 加納 壘 平成6年卒)